

平成26年度施策評価調書

整理番号	18
評価担当課	建設水道部 工務課・下水処理場

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	施設の維持管理(3-11-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	11	下水道・個別排水の整備

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	美しい自然と快適な生活環境を守り持続可能な下水道を維持するため、管渠及び下水処理場施設の計画的な維持管理を行います。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	大雨時、下水道管に雨水が侵入することにより発生する汚水の排水障害を未然に防止するため雨水が侵入しづらい公共柵への取替を行っている。また、下水処理場については、製造メーカーによる機器整備及び修繕を実施している。
施策の課題	管渠施設の老朽化が進むにつれ侵入水の増加が予想されるため、より効率的な対策が必要。また、処理場施設については機器更新計画と連携し、きめ細かな維持修繕が必要。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
公共柵取替基数	コンクリート製の公共柵から塩ビ製の公共柵へ取り替えた基数	目標値	100	100	50	1,000
		実績値	100	100	50	-
		進捗率	100%	100%	100%	-
機器整備	主要機器分解整備・修繕(台数)	目標値	1	2	1	-
		実績値	1	2	1	-
		進捗率	100%	100%	100%	-
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	毎年度の予定整備・修繕を実施していることから順調と判断した。	A:計画目標に向けて順調に推移 B:計画目標に向かって概ね順調 C:計画目標に向けて進捗はやや遅れている D:計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後、老朽化施設が急速に増加するなか持続可能な下水道を目指し、計画的で効率的な下水道施設の維持管理を実施する。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)